

9. 合同問題の整理
西島澄水

売の最の無条件合同のいふ最の合同提
唱の是れ性来他喫の喰いたの掃合の是れ
持のナカの方圓の之を右の言は大最の合同と膝
交のノ説の様はた大最の今世合同の意
馳合トイテテリトノ討主カレ日受ノ夫鏡下子
の呼の動セルの飽好ノ掃合とるる是れ是れ合同
の障礙ニテハハトノ懸念カウ合同の提唱セリ
に事多ク幹排の自由重しと居マ之カ大九階
リテアワタカウ今後の徹底的の排撃ノ強固ニハ
キテ凡ク合同の下の合同ヲアテるはナラヌ
亦此カ之の如キノか、不ナラヌニ

合同の討議に入り権限横山より第4年
ト青年協会の4年カ記載レリナリ 秋田内田
より秋田の秋田の問題、また大最の合同の
ハ合同のナラ 方最の係存サレシマフ 様ナ此
境ニアリナリ 権限多クハ此ノ心ニテ運動ヲ
入テ進ニハ知テ幹ハ必ス先服ニトカ出来
るト述ハ然向能正ニ作ルハ能ハズ
一任に任之

10. 青年主義青年の討議
村山 素山 草
村山素山方は後付議ニテ、某の運動
ノ会長的連絡、急務ヲ方説権限横山ハ日説
協会の問題ノ提テ口シテ守ル外協者ノ抗